

第1回 彦根市シティプロモーション戦略策定委員会 議事録（要点録）

◆ 日時:2018年6月22日(金)13時30分～15時50分

◆ 場所:大学サテライト・プラザ彦根(A・B教室)

◆ 参加者（敬称略）

<委員>

出席: 上田洋平／小椋昭代／柴田雅美／松居智和／橋本昌子／馬場完之

欠席: 宗田好史／丸山武志(アドバイザー)

<事務局>

彦根市: 大久保市長／シティプロモーション推進課 課長・疋田／同課長補佐・平尾／木田

株式会社いろあわせ: 北川／図司

<彦根市関係課>

企画課: 日根野／久保

<傍聴人>

6名(報道機関含む)

1. 開会

2. 委嘱状交付

3. 市長あいさつ

4. 委員自己紹介 <資料1>(※ 市長は別の公務により退席)

5. 彦根市シティプロモーション戦略策定委員会設置要綱の制定について

● 【事務局】要綱の制定について説明 <資料2>

■ **出席委員全員の同意により承認**

6. 委員長の選出および委員長代理の選出について

● 【事務局】委員長については、要綱に基づき委員の互選により決定する旨を説明

● 【馬場委員】事務局案の提案を求める発言

● 【事務局】委員長には、自治体や公的団体、NPO等と連携し、地域課題の解決に向けた取組を実践され、学術的な見地から、地域づくりについての研究を行っておられる、滋賀県立大学地域共生センターの上田委員に委員長をお願いしてはどうか。

■ 出席委員全員の同意により、**委員長は上田委員に決定**

■ 【事務局】副委員長については、要綱に基づき、委員長の指名により決定する旨を説明

■ 【上田委員長】**小椋委員を副委員長に指名**(出席委員全員の拍手により確認)

7. 議事

<議題①： 委員会の進め方およびスケジュールについて>

－【事務局】議題①について説明

- 【馬場委員】市が制定する他の計画や戦略との位置付けについて
- 【事務局】議題②に関係するが、人口減少対策に重点を置き、19歳から39歳までの若年層を主なターゲットとする「彦根市まち・ひと・しごと創生総合戦略」とは上下関係ではなく、並列に連動し、情報発信の分野で官民が協働して取り組める戦略を構築する。事業については「彦根市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に挙がっている事業の一部を取り込むことも想定している。

■ 【委員全体】 議題①の内容を承認

<議題②： 彦根市シティプロモーション戦略の目的について>

－【事務局】議題②について説明

- 【柴田委員】“市民の熱が発信され”とあるが、市民の対象は誰になるのか、熱のあるアクティブな人だけ活性化しても仕方ない。積極的でない人が置いていかれるようなことにはならないか。
- 【事務局】今回策定する戦略に基づく情報発信の取組結果として情報を届けたいのは、彦根市まち・ひと・しごと創生総合戦略のターゲットである19歳～39歳。ただし、街の魅力を発信する当事者や、市民ワーキング会議への参加者は制限を設けない。したがって、最終的に本委員会のアウトプットが、例えばSGDsのように、誰かに特定しない、人によって様々な活動に繋がられるようなものにするのも、一つのイメージであると考えている。
- 【小椋副委員長】成果測定は、いつ、どのように行うのか。
- 【事務局】まずは定点観測のための現状分析は、直近で行う。その際「地域推奨量」「地域参加量」「地域感謝量」を指標として用いる予定。平成31年度から3年間で実施されるプロモーション事業の中で定点調査を行う中で、上記3指標の変化を、成果として見える化したい。他市との比較ではなく、彦根市の中でポジティブに変化していることを観測できることが大切である。県外の都市部在住者を対象とした調査については、今年度は参考データとして実施するが、来年度以降については未定。
- 【松居委員】地域推奨量など量的なものが成果として見えたとして、質的なものはどう見るか。
- 【事務局】ある種ゴールのない継続活動のきっかけづくりなので、量的なものの総和が質の評価として見える化していくのだと考えている。
- 【上田委員長】ワーキング会議や本委員会で、指標自体を議論していくのも良いかもしれない。「彦根な

らではの指標」など。

◇ 上田委員長から持ち込み資料の配布あり 別紙「シティプロモーションってなんだろう」

- 【上田委員長】本委員会の委員に就任するにあたって、東海大学の河井孝仁氏の著書の要点や、私の思うところを書きだした資料を用意したのでご確認いただきたい。
- **【委員全体】 議題②の内容を承認**

<休憩:10分間>

<議題③：現状把握について(アンケート調査)>

－【事務局】議題③について説明

- 【松居委員】サンプル数や送付数は適切か、返信率が少ない場合の対応について
- 【事務局】基本的にこれまでの彦根市のアンケート回収実績が平均して3割程度の回答であることを前提としている。一般的には10万人規模の都市であればサンプル数は300ほどあれば有効であると判断される。
- 【柴田委員】回収率が低くなり、データ母数が減ってしまうようであれば、来年度以降回収率アップの方法も考える必要があるかもしれない。一方で回収率が低ければ低いで、それも現在の彦根市民の意識を表すデータ、ともいえる。

－【事務局】アンケート内容説明

- 【馬場委員】設問の表現方法によってバイアスがかかるという懸念について
- 【事務局】設問の表記により回答に多少の揺らぎはあると考えているが、他市と同じ聞き方にし、比較検討を行うことを優先した。今回は、ベンチマーク先である那須塩原市と同じ表現内容に合わせている。

■ **【委員全体】 議題③の内容を承認**

<議題④：市民ワーキング会議について>

－【事務局】：議題④について説明

- 【柴田委員】策定委員会メンバーもワーキング会議に参加または見学に行くことはよいか(委員としても市民ワーキング会議の推移を把握しておきたい)

- 【事務局】市民ワーキング会議の結果については、策定委員会においても報告するが、実際に見てもらったほうがより理解を深めてもらえると考え。可能な委員はアドバイザー的な立場でぜひ参加してもらいたい。
- 【柴田委員】アンケートの結果は市民ワーキング会議で共有する予定か
- 【事務局】市民ワーキング会議のメンバーにとっても、戦略を検討していくにあたり参考材料となるため共有していく予定。
- 【柴田委員】彦根市内の大学生(県外から通う学生含む)が彦根にどれだけ愛着を持っているか懸念もある。高校生を対象にしてはどうか。進学で一度県外に出ても、彦根に魅力を感じていればUターンにつながるのでは。
- 【事務局】今回の市民ワーキング会議が、大学生が彦根に愛着を持つ一つの機会になれば、と考えている。市民ワーキンメンバーの応募資格は、15歳以上に設定はしているため、高校生も応募は可能ではある。(自発的な参加があるかは未知数。)
- 【松居委員】参加者が少なかった場合について
- 【事務局】募集方法に創意工夫を行い、個別に声掛けなども考えている
- 【橋本委員】日程や開始時間、場所はどのように考えているのか
- 【馬場委員】経験上、土曜は地域行事や家族イベント等があり集まりにくい。夜は21時までには終了すべき。地域毎に19時～、19時半～という希望時間帯がある。
- 【事務局】土日祝日の開催は敬遠されると認識している。平日の夜は、子育て層にとっては参加しにくい。PTAや自治会の集まりも同時刻帯で実施されており、不可能ではないと考える。逆に平日の昼間は、仕事している人はほぼ参加できない。
- 【上田委員長】4つのWGを別々に開催するより、WG間の意見シェアも含めて同日程・同会場で開催する方がよい。

◇ 【要点整理】

土日祝日の開催は避ける。

会議時間を2時間と想定すると、19時スタート21時終了が適当。

同時間・同会場で4グループ同時に実施する。

→平日の19時～21時で会場を調整する。

■ **【委員全体】 議題④の内容を承認**

<議題⑤: その他>

■ **【事務局】 次回以降、戦略策定委員会以降の日程調整について以下の通り候補日を提案**

第二回: 第一候補: 8/31(金) 10:00-12:00

第二候補: 8/30(木) 13:30-15:30

第三回: 第一候補: 9/28(金) 13:30-15:30

第二候補: 10/12(金) 13:30-15:30

第四回: 第一候補: 11/16(金) 13:30-15:30

第二候補: 検討

第五回: 第一候補: 1/11(金) 13:30-15:30

第二候補: 1/25(金) 13:30-15:30

■ 上記の開催日程候補を参考に、欠席の宗田委員、丸山アドバイザーと事務局側で調整

◆ 連絡手段について

委員会メンバーとの連絡手段はメールを使用するが、可能な委員については、Facebook メッセンジャーのグループ機能を使い迅速に情報共有を行う。

◆ 次回以降は、事前に資料を委員会メンバーへ送付する。

以上